
あらことの記

A.T.

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あらことの記

【Nコード】

N3624E

【作者名】

A・T・

【あらすじ】

皇紀2000年、新たな時代へ向けて皇国を突き動かさんとする人々と、滅びゆく古の神々のあくなき抵抗が織り成す物語

一の巻

「久しぶりだな、長手。^{ながて}一国の王子さまが今じゃ囚獄^{ひとや}の見張り番とはな。」

長髪の男はそう言ってほくそ笑んだ。暗がりの中、焚松^{たいまつ}の明かりに細面の顔が浮かび上がる。長い白髪はそのために少し赤みを帯びている。しかしその髪の色は生まれつきで、彼がまだ22そこそこであることを長手は知っている。

「確かに、お前のような囚人の方がまだ救いがあるかな。益荒^{ますらい}どの。」

「
そういつて鉄格子の向こうの男に頬笑み返した。」

「自分だつてこんな仕事が出来たいわけじゃないが。実をいうと、ある人の情報を集めているんだ。」

「ほほう、じゃあ俺がそいつの情報を提供したら、ここから出してくれるつてのはどうだ。」

「おいおい、ずいぶんと話が早いなあ、まだ名前もいつてないぜ。」

^{たのみなあたま}
「立華北周、違うか？」

「・・・そうだ。でも半年も牢に入っているお前が、なぜそれを知っている。」

長手の問いに、彼は軽く鼻を鳴らした。

「獄吏に答えられるかよ。でも忍^{しの}の俺になぜ、と訊くとは愚問だな。しばらく見えない間にずいぶんと見くびられたものだ。」

「すまん、すまん、お前の技のほどは知っているよ。でもあの邑^{まち}で暮らしているとどうもな。実感が薄れるというか。」

「いいわけはよせや。前から言ってるだろ。最近の都会はまだ白髪一本もない若者だつてたいそう早めに耄碌させるとな。爺さん口癖だったが、こつちに来てはつきりわかったよ。生来 蟲^{むし}霊に敏感な質のお前にさえ身に迫る気配を感じ取れなくしちまうんだからな。」

「それはどういう・・・」

突然、木杵でも嵌められたように口の自由が利かなくなった。それだけではない。全身が金縛りにでもなったかのように硬直し、立つたままの状態であつた。身動きが取れない。

突然、牢の中で彼が立ち上がると、いとも簡単に拘束していた手足の枷を外した。そしてまるで腐つた細木でも破るように、鋼鉄でできた牢獄の格子を蹴破つた。

「待ちくたびれたぜ。実を言つとな。俺もお前に用があるんだ。来い！」

自分の意思とは関係なく、いや、性格には自分自身の脳裏に巣食う何者かの意味によつて、彼の体は動き出す。

と同時に、やはりその何者かの力によつて、抵抗しようともがき続ける自己の意識も遠のいていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3624e/>

あらことの記

2010年11月15日07時33分発行